

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は、外部の人々の多角的な視野を通じ改善事項についての意見交換や、地域からの理解を深める貴重な機会である。参加者等を複数依頼する等、参加者個々の負担軽減を図り、定期的開催されることを期待したい。	委嘱する委員数を増員し、2ヶ月に1回ずつ開催できるようにする。	委嘱する委員の方の人選と、同意を早急に取り付	3ヶ月
2	6	家族から、意見箱設置についての要望が出されていることについて、早急に対応し、家族に対しても、さらに開かれた事業所である旨、示していくことを期待したい。	意見箱を作製し、受付の前に設置を完了し、ご家族に連絡周知する。	意見箱を作製し、受付の前に設置を完了した。なお、意見箱の設置について、郵送物の配布時に、ご家族に連絡周知することとした。	1ヶ月
3	10	利用者等の状況は刻々と変化しており、現状と介護計画にずれを生じることもあるので、モニタリング期間を短縮し、現状に即した視点で確認していくことを期待したい。	モニタリング期間を短縮するとともに、効率的な運用をする。	ケアカンファレンス開催時に、あわせてモニタリングをすることとし、期間を短縮するとともに、効率的な運用をする。	4ヶ月
4	12	関係者等の方針統一が図られぬまま終末期を迎えることのないよう、早い段階から繰り返し話し合いの機会を設け、方針統一が図られることを期待したい。	入居説明時に、「看取りに関する指針」を作成し、保険者に届けている旨の説明をすることで、入居時の判断材料の一つにさせていただく。	次回の入居説明時から、実施する。なお、すでに入居されている方々については、家族懇談会等で、改めて説明することとする。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。